



## 台南市政府観光旅遊局

Tainan City Government Tourism Bureau  
 民治市政センター(局本部) 06-6353226  
 永華市政センター(観光サービス課) 06-3901175



台南旅行サイト



Travel Tainan アプリ



YouBike

ステーション検索



LINE



24時間観光サービス

中国語・日本語・英語対応



Hasリアルタイム情報

※本出版物に掲載されている情報は発行後に変更される場合があります。詳細は各機関または店舗のお知らせをご参照ください。

### 観光案内所

- 1 新管駅観光案内所**  
06-637-8821  
台南市新営区中山路1号
- 2 台南駅観光案内所**  
06-229-0082  
台南市東区北門路二段4号
- 3 台南空港観光案内所**  
06-335-9209  
台南市南区機場路775号
- 4 高雄鉄道台南駅観光案内所**  
06-600-8338  
台南市帰仁区帰仁大道100号
- 5 台南左鎮化石園区観光案内所**  
06-573-2629  
台南市左鎮区栄和里61-23号
- 6 無米楽観光案内所**  
06-662-2725  
台南市後壁区齊善里75号
- 7 安平観光案内所**  
06-228-1382  
台南市安平区安平路790号
- 8 旧合同庁舎観光案内所**  
06-221-9527  
台南市中西区中正路2号
- 9 月の美術館ビザターセンター**  
06-632-4453  
台南市塩水区中山路23号
- 10 虎頭埤風景区ビザターセンター**  
06-590-1325  
台南市新化区中興路42巷36号

2026印刷発行 広告

## 1 【安平老街】(延平街・効忠街・中興街・古堡街)

「延平老街」とも呼ばれる安平古堡街は、オランダ人によって造られた最初の通りです。通り沿いに小物や雑貨を取り扱うアートショップが立ち並び、お土産を売るのに最適です。蝦蟇(エビロー)、蝦餅(エビゼンべい)、蚵仔煎(牡蠣オムレツ)、孔雀蛤(台湾ムール貝)、浮水白土魚羹(魚のすり身のとろみスープ)、魚肉飯(米糕(おこわ)、揚げ湯、豆花、韭菜羹(ニラの油やき)、童玩店(昔ながらのおもちゃ屋)、煮棧糖(カラムシ焼き)、陶豆店・春巻きピーナツアイスクリーム、梅仔水(梅スムージー)、旗魚魚輪(カジキマグロのつめ)、砂糖漬けなど、台南ならではのグルメ遊び・アートをお見直しな。

## 2 【安平路】(運河沿い)

安平運河は台湾最長の人工運河です。運河の周辺には魚皮スープ、茶葉卵、豆花、土魷魚(サワラのとろみスープ)、蝦蟇(牡蠣ロール)、牛肉スープ、唐辛子味のフクトゥーム・油味(台湾風臭豆腐)、コーヒートラフ、お菓子・砂糖漬け・麦芽クッキー、ハイナールケーキ、蝦餅(エビゼンべい)などのレストランやお土産店が立ち並び、国内・台南の各店とグルメの集地となりました。

## 3 【国華街周辺】

国華街一帯は台南で歴史のある商業市場で、かつては台南経済の中心地の一つとして知られていた。麻痺(台湾風茶葉煎茶)、春巻き、刈包、蚵仔煎(牡蠣オムレツ)、青草茶、米糕(おこわ)、土魷魚羹(サワラのとろみスープ)、小巻米粉(イカのスパイス)、白糯米(お餅の揚げ菓子)、牛肉スープ・肉圓、炸蚵蚵(牡蠣のかき揚げ)、肉粽(中華もち)、魚麵(あんかけ麺)など、伝統的な味と現代的な雰囲気が出たグルメが集まっており、どれも絶対に見逃せない逸品です。

## 4 【正興街周辺】

かつて西来庵と呼ばれていた正興街は、台南で最も人を惹きつけている小さな通りで、路地裏には人々の記憶が刻まれています。ツトクローリ、紅茶・カレー・果物店、黒糖(台湾おでん)、マカロニ・カフェ、ブティック・ホテル、人気料理のお店など、路地裏にも驚きと味わいがあります。日本の路地裏と並ぶ小さなお店のように、路地裏にひっそりと佇んでいます。

## 5 【海安路周辺】

芸術の美しさが華やかに融合する台南海安路には海鮮料理・週末のバブ・熱炒(台湾式海鮮居酒屋)、ユニークなお茶専門店・鮮魚湯(魚のスープ)、蝦仁飯(エビ飯)など、有名な当地グルメが集まっています。多くがインターネットのロミコで広まった台南ならではのグルメで、海安路では5歩歩けば食べ物のお店に着くと言われているほど「小吃(一品料理)」が密集しています。

## 6 【西市場(大菜市)】

「大菜市」とも呼ばれる西市場は、100年の以上を誇る台湾南部初近代の市場です。2003年に市定古跡に指定され、2017年から修復工事が始まり、長年の劣化を終えて、2025年7月に完全にリニューアルしました。市場の運営計画には、クリエイティブ製品・日用雑貨・繊維製品・グルメが含まれています。西市場の次の100年の物語が今ここから始まります。

## 7 【水仙宮市場】

水仙宮は歴史がお店が林立する市場の中に位置しています。市場には新鮮な魚介類や野菜がずらりと並んでいるほか、周辺には海鮮類・刺身・寿司・麻糬(もち)、肉圓子・大餅(ダーピン)、茹でとうもろこしなど、絶対に食べたい当地グルメが集まっています。

## 8 【保安路周辺】

保安路には参拝客の絶えない「保安宮」があり、そこからわずか100メートルほどの範囲には有名なグルメが集まっています。豚ハツ、蝦仁飯(エビ飯)、サバヒー料理、米糕(おこわ)、牛肉スープ・浮水魚羹(白身魚のあんかけスープ)、カレーライス、蝦仁肉圓(エビ入り肉圓)、塩豚、青草茶、香腸熟肉(ソーセージと茹で豚の盛り合わせ)、米粉花枝(イカ入りピーマン)、鍋焼魚、焼きとうもろこし、百年油条、杏仁茶、緑豆藕など、さまざまなグルメを楽しみましょう!

## 9 【成大商圈】

国立成功大学のキャンパス周辺に位置する成大商圈は、長年にわたり変化を続け、文化・教育の中心地、賑やかな市場、ご当地グルメ・リーズナブルな飲食店、日用雑貨店、ホテルなどが融合した商圈として栄えました。成大商圈は成大有名の各キャンパス付近の通りからおり、リーズナブルなバス、果糖(台湾おでん)、人気の朝食はグルメ番組でもよく紹介されています。キャンパス自体の風景も美しいです。

## 10 【鴨母寮市場】

台南三大伝統市場の一つです。かつて市場には大きな水路が流れており、アヒルを飼う人が集まっていたことが、鴨母寮と呼ばれるようになりました。市場で味わえる炭火鶏(別名:鶯鶯膳)は昔ながらの紅茶とよく合います。肉包(肉まん)、黒白初・当帰鴨蹄膀(鴨肉の当帰スープそうめん)、鶏肉飯、排骨飯、コンがっつお餅、乾意麵、具だくさんの福州丸湯(魚のつめり団子スープ)もお見直しな。鴨母寮は燻製や油味も有名で、おいしい素食(精進料理)、碗粿(台湾風茶碗蒸し)、蝦捲(エビロー)、米子醬(からすみペースト)、骨なしサバヒー、からすみなど、味わう価値のあるグルメが集まっています。

## 11 【花園夜市】

台南の最も代表的な夜市で、グルメ・日用品、衣料品、娯楽など、なんでもそろっています。麻辣鴨血、香港風フィッシュボール、果物の屋台・烤小卷(焼きイカ)、蚵仔煎(牡蠣オムレツ)、地瓜球(さつまいもボール)、ジャワル、ステーキハウス、炭烤香豬蹄(炭火焼きチキ)、塩豚鍋(台湾風の唐揚げ)、臭豆腐、ジョーシーとんかつソーセージ、大福、シંગガポール風ラクダ、テータリクク、クレープ、骨なし鶏肉羹、チーフステータラツ、Mi Jiang(蜜醬創製式焼豚)、韓国で人気のある鶏器糕(中華風蒸子カボチャ)、フットリ、専門店・爆弾汽水など、数多くの屋台がならび、見るだけで思わずよだれが出てしまいます。

## 12 【小北新成功夜市】

小北夜市では、牛肉・羊肉専門店、鱈魚(タウナギ)意麵、棺材板、安平蝦捲(エビロー)、臭豆腐、魚麵、鉛餅、酸辣湯、豚肉鉛餅、パンなど、さまざまな台南のグルメを楽しめます。花園夜市ほど大きくありませんが、グルメ・レジャー・エンターテインメントを楽しむのに最適な場所です。

## 13 【台南市南門城休日観光花市】

約60のブースで各種「盆栽・草花・多肉植物・珍しい植物・水耕・アクリウム用品・肥料・園芸用品など」が販売されています。花市の広場では不定期にララの展示会・植栽・陶芸の合同展などが開催されています。水耕、観音草、香露品、陶芸作品などのお宝があなを待っています。(営業時間:土日 8:30~18:30、祝日の営業時間については、南門城休日観光花市のFacebookページをご覧ください)・営業時間中に06-2139615までお問い合わせください。

### 【安平区】歴史的な安平エリア

遊ぶ・散策する、巡るのに最適な場所がたくさんあります。小さな路地にも見逃せない秘境があるほか、歴史的建造物、古井戸、文化スポット、小さなお店もたくさんあり、安平旅行で絶対に外せない場所となっています。おおすすめの遊び方:ハイキング用の服装備へ「水とカメラ」そしてスケッチブックがあれば最高です。安平の路地裏の歴史の風景を描き出しましょう!

## 1 億載金城

分類: 史跡  
 料金: 大人NTD70・子供NTD35  
 所在地: 台南市安平区光州路3号  
 営業時間 8:30~17:30 (18:30完全退場)  
 二重シン砲台とも呼ばれる億載金城は、かつて安平大砲台とも呼ばれていました。清代に建てられた砲台で、国定古跡に指定されています。当時、欽差大臣だった沈葆楨が朝廷に西洋式砲台の建設を上奏し、これが認められ、フランス人の設計によって1876年に完成しました。

## 2 安平樹屋

分類: 史跡  
 料金: 大人NTD70・子供NTD35  
 所在地: 台南市安平区古堡街108号  
 営業時間 08:30~17:30  
 19世紀末に建てられた安平樹屋は、清朝末期にはイギリスの徳記洋行・日本統治時代には大日本植業株式会社倉庫として使用されてきました。2004年、政府機関によって安平国家歴史景区に編入されました。全面的な計画を経て高架木道が整備され、樹屋の間を散策できるようになりました。木漏れ日の魅力的な変化を撮影しよう、多くの観光客が訪れています。

## 3 林默娘公園

分類: 国内旅行  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市安平区安徳路沿い  
 開放時間: 終日  
 「林默娘公園」最も特徴的なのは、花崗岩で彫られた高さ約16メートル、台座の高さ4メートルの媽祖・林默娘像です。公園は林默娘にちなんで名付けられ、孝女の思いやり、この地に移民し開拓した先人への思い、後人の飲水思源(中国の故事成句:水を飲むは、その源に思いを致せ)の意味を象徴しています。港に面して立つ像は、航海に出る住民の守護者であることも意味しています。突き出した広々とした地形は、台南の新たな散策、観光スポットになっています。

## 4 安平老街

分類: 史跡  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市安平区延平街・効忠街・中興街  
 開放時間: 終日  
 17世紀、オランダ人によって安平古堡の東にゼーランドシア市街が築かれました。安平の延平老街(石板街)とその集落に足を踏み入れたら、濃厚な古風の趣に包まれます。古い家屋の壁や古民家が悠久の歴史の記憶を物語り、まだまだ模様細い路地街から、独特かつ歴史的な質感を感じられます。時代の移り変わりとともに、現在の老街にある旧集落の建物も、土角(土と藁で作られた伝統的な家屋)、赤レンガの瓦屋根の家屋、洋館が目立ちようになりました。古い街並みは時の流れとともに変化し続けています。古い集落を散策しながら歴史の変遷を感じ、かつての物語をじっくり探りましょう。

## 5 安平古堡

分類: 史跡  
 料金: 大人NTD70・子供NTD35  
 所在地: 台南市安平区国勝路82号  
 営業時間 08:30~17:30  
 元はオランダ人によって建てられたゼーランドシア城です。昔、漢民族はオランダ人を紅毛と呼んでいたため、紅毛城と呼ばれるようになりました。日本統治時代に改修された「安平古堡」と呼ばれるようになります。敷地内の台湾城跡、ゼーランドシア城の城壁と城内の建築遺構は国定古跡に指定されています。城跡の台地には立てられている洋風建物は1930年に建てられました。1975年に再び改修された後、オランダ統治時代から現在までの安平の歴史と姿を紹介する展示スペースとして開放されました。台湾城跡の隣にある博物館は1882年に建てられた安平税務司公館で、2009年にゼーランドシア城博物館が設置されました。

## 6 旧徳商東興洋行

分類: 史跡  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市安平区安北路233巷3号  
 開放時間 10:00-17:00(月曜休館)  
 台南市安平区にある旧徳商東興洋行(旧名: JULIUS MANNICH&CO.)は「安平五洋行」の一つで、国定古跡に指定されています。建物は現在「安平外商貿易記念館」となっており、かつての安平路における貿易の歴史と現在に関連する品々が展示されています。建築の前庭には、屋外レストランがあり、休日にはバンド演奏も行われています。

## 7 安平開台天后宮

分類: 史跡・宗教信仰  
 料金: 志納  
 所在地: 台南市安平区国勝路33号  
 営業時間 05:00~22:00  
 開台天后宮は、瀟湘に赴いた鄭成功が、台湾へ向かう艦隊を守るために3体の軟身(可動式)の媽祖像を運んできたこと由来します。明朝永暦16年(1662年)、これらの像は一時的にゼーランドシア城のオランダ館に安置されました。1668年にこの地に建ち、開台の称号が与えられ、当初は天妃宮と名付けられました。1683年、清朝政府は天妃宮を民間で建立したものとみなし、別に祀典大天后宮を建立しました。鄭氏による台湾人の民間信仰への影響を払拭するため、天妃宮は安平鄭氏廟と改称されました。1874年、台湾を統治していた沈葆楨は、民をなだめるために安平廟の地位の正式な回復を上奏し、清の同治帝から「興天同功」の勅諭を賜り、名を天后宮と改めました。

## 8 安平遊憩碼頭

分類: 国内旅行  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市安平区運河路43-1号  
 開放時間: 終日  
 2009年、連続して国家卓越建築賞や園治賞などの大賞を受賞しました。海の見える憩いの場で、夜には「大魚星光牆」を觀賞しながら、港沿いの遊歩道の散歩を楽しめます。

## 【北区】北区もお忘れなく

北区にはさまざまなグルメ、ゲーム、楽しい呼び込み、洗練されたモーターがそろった台湾で最も有名な夜市があります。台南の塩水溪に最も近く、台湾歴史博物館、特徴的な寺院、古い公園などがあり、異国料理のお店や日本統治時代の古い建物もあります。おおすすめの遊び方: レンタルバイクで大回りから路地裏まで巡ることができ、駐車しやすく、ショッピングや散策も楽しめます。

## 9 台南公園

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市北区公園路356号(公園南路と北門路の交差点)  
 開放時間: 終日  
 日本統治時代の1917年に開園した台南で最も古く、最も大きな公園です。敷地面積は4万坪を超え、当時は熱帯熟林として利用されていました。園内に常緑樹と落葉樹が植えられており、本物の森林のような豊かな林相が形成されています。第二次世界大戦、中山公園と改称されましたが、2001年に台南公園の名に戻りました。園内には日本統治時代に現在の南門路から移された石彫の重道楽文坊があります。これは、清朝嘉慶20年(1815年)に文廟(孔子廟)の修復に銀を寄付した林朝英を朝廷が褒め称えて建てたもので、市定古跡に指定されています。園内には子供用の遊び場、噴水池、台南市中山児童科学教育館、音楽ステージなどの施設があり、家族連れで遊ぶのに最適です。

## 10 花園夜市

分類: ローカル旅行  
 料金: 必要に応じて  
 所在地: 台南市北区海安路三段と和緯路三段の交差点  
 営業時間 17:00~24:00(大塚・土曜・日曜・夜間)  
 花園夜市は最も数ある夜市の中でも最大規模(約3000坪)で、屋台も最も多いため(約400店)、最も人気の夜市となっています。TVBSが実施した「心中の一番好きな夜市」のネット投票で第1位に輝いたこともあります。台南を代表する夜市で、2010年には交通部觀光局の「十大特色夜市」にも選ばれました。夜市には、さまざまな屋台が横並びに並び、流行のファッション、おいしいグルメ、レジャー・エンターテインメント、ブティック、日用雑貨の4つのエリアに分かれています。各屋台の旗が一面にはめられ、ユニークな光景が作り出されています。

## 11 開元寺

分類: 史跡  
 所在地: 台南市北区北園路89号  
 営業時間 06:00~17:00  
 国定古跡に指定されています。開元寺は清朝の康熙時代に建立され、当初は海会寺とも呼ばれていました。近代台湾仏教の発展に深く関係しています。開元塔七寺八廟の一つにも数えられています。境内にある南山堂は、仏教南山律宗の台南府である道宣を記念して建てられたもので、功徳堂には「民間別館時代の井戸」があり、この井戸から生活用水を汲んでいた鄭経にちなんで「鄭経井」と呼ばれています。井戸を掘っていた時に見つかった白化石は寺の宝物となっています。

## 12 321巷芸術集落

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市北区公園路321巷27号  
 ※現在園内の改修中です。見学可能時間については06-2981800までお電話ください。  
 かつて日本軍台湾歩兵第二聯隊の官舎群だった市定古跡で、台湾光復後、国立成功大学の教職員宿舎として使用されました。現在は芸術・人・文化・生態系が融合したアート・ドレッシングになっており、園内には数多くのアート作品やアトリエがあります。駅やバス・タクシーからアクセスしやすい路地にありながら、喧嘩から離れて静かさを楽しめる「市内の桃源郷」となっています。最近、文化局が管理を引き継ぎ、特色ある芸術集落として試験的な計画が行われています。今後も引き続き修復資金の調達は尽力し、文化的な古都における最もユニークな史跡の芸術集落にすることを目指しています。

## 【中西区】素敵な中西区

中西区は個性的で楽しいお店、古跡、廟が大通りや路地に点在する素敵なエリアです。バー、パブ、行列のできる名店、人気ショップ、文化施設、衣料品、ブティック、市場などが連なっており、つい長居してしまうエリアです。おおすすめの遊び方: 軽装・サンダル・手ぶらで出かけてもOK!朝から夜まで、散策、グルメ、ショッピングを楽しんで時間が足りなくなってしまう場所を見逃していませんか?さあ一緒に出かけましょう!

## 13 祀典武廟

分類: 史跡  
 料金: 志納  
 所在地: 台南市中西区永福路二段229号  
 営業時間 05:30~21:00  
 大開帝廟とも呼ばれ、主神は開聖帝君(開闢)です。台湾で古くに建立された開帝廟で、国定古跡に指定されています。祀典武廟は実行のある「三進三殿、南進南廟」という寺院建築で、南向きに建てられています。前殿の後と正殿の前の両方に拝殿があり、特に正殿前の馬背歇山式屋根の拝殿造形は非常に特徴的です。右側のには東向きの観音行と文島書院を祀る北の「西社」があり、台南の士人たちが文島を通じて友情を深め場所となっていました。廟内では最も有名なのは、1791年に台東派兵備の福廷が題した「大丈夫」の扁額です。仏教の護法・道教的の天壽、儒教的の聖人・義・仁・智、信の人格を備えた人物への敬意が示されています。

## 14 台湾文学館

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市中西区中正路(湯徳章大道)1号  
 開放時間 火曜~日曜 9:00~18:00  
 月曜休館  
 日本統治時代の1916年に台南庁舎台南州庁として建設され、現在は国定古跡に指定されています。戦後は空軍の補給司令部や台南市政府として使用されたこともありましたが、建物の多くの構造は戦前や老朽化により破損していましたが、1997年に修復工事が開始され、2003年に開館しました。現在は台湾初の国立文学博物館として、収集・保存・研究の機能を備えるほか、展示・イベント、教育普及などを通じて文化の発展を促しています。文学図書閲覧室や児童文学図書室なども備え、多様なサービスを提供しています。裏手には台湾の文化遺産の科学的な保存を研究する重要な機関「文化部文化遺産局文化遺産保存研究センター」があります。

## 15 赤崁楼

分類: 史跡  
 料金: 大人NTD70・子供NTD35  
 所在地: 台南市中西区民族路二段212号  
 営業時間 08:30~21:30  
 赤崁楼の前身はオランダ統治時代の1653年に建設されたプロヴィンティア(Provintia)別名:省城、塩政城、紅毛楼。地元では「番仔楼」と呼ばれます。1661年に台湾を統一した鄭成功がプロヴィンティアを占領し、赤崁楼に承天府を設置しました。現在は国定古跡に指定されています。歴史的建造物のほか、赤崁楼で最も目を引くのは一列に並んだ砲臺碑で、これは林爽文事件を鎮圧した福康安を称えるために清の乾隆帝が特別に下賜したものです。金門花崗岩を彫った十基の御碑で、石彫の亀のような台座は「鳳凰」と呼ばれる重きを負うことを好むといわれる伝説の生き物です。碑の台座として用いられることが多く、赤崁楼で人気の撮影スポットになっています。

## 16 祀典大天后宮

分類: 史跡・宗教信仰  
 料金: 志納  
 所在地: 台南市中西区永福路二段227巷18号  
 拝観時間 6:00-21:00  
 大天后宮は媽祖を主祭神とする道教廟で、台湾で最初に天后宮と称された媽祖廟です。現在は中華民国国定古跡に指定されています。一般的な廟の門には門神が描かれていますが、「大天后宮」は勅命によって祭祀を行う官立の廟であったため、門神の代わりに門釘が用いられています。廟内には数多くの史料が収蔵されており、康熙の左右の壁には2つの古い石碑が埋め込まれています。このうち、施琅將軍が康熙24年(1685年)に建立した「平台紀略碑」は台湾に現存する最も古い清代の碑で、台湾進攻の経緯、民心の安定、事後処理の方法などが記されています。また、大天后宮の月老は「府城著名月老(台南の有名な月老)」として知られ、これまでに多くの良縁を取り持ってきました。

## 17 孔子廟

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 大成門内の見学には入場料がかかります(大人NTD40、優待NTD30)、外側の敷地は無料で見学できます。  
 所在地: 台南市中西区南門路2号  
 営業時間 08:30~17:30  
 1665年創建で、国定古跡に指定されています。台湾最古の文廟(孔子廟)で、当時は「先師廟」と呼ばれていました。清朝統治時代初期、台南の最高学府とされ、「全台首學」と呼ばれていました。孔子廟の東大城坊には「全台首學」の扁額が掲げられており、歴代の皇帝や元首による扁額も多数残されています。現在も「左学右廟(左側に学問の、右側に廟)」という伝統的な配置が保たれています。台南孔子廟は300年にわたる伝統を守り続けており、春と秋の年2回、祭典を行っているほか、台湾でも数少ない「抜知恵毛(お供え物の牛の頭を放く行事)」に参加することもできます。

## 18 林百貨

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 必要に応じて  
 所在地: 台南市中西区忠義路二段63号  
 営業時間 11:00~21:00  
 日本統治時代に台南で初めてエレベーターが設置された建物です。台湾南部の百貨店として1932年にオープンし、「五棧樓仔(五階建て)」と呼ばれていました。日本統治時代の台南最大広町(現在の中正路)の繁華を象徴し、台南の「銀座」と呼ばれていました。第二次世界大戦後、他の用途に変更され、長い間閉鎖されていたものの、その後、市定古跡に指定されました。2013年6月に改修が完了し、クリエイティブな百貨店として生まれ変わりました。各フロアがそれぞれのテーマで台南の文化を紹介し、新しいモダンな時代の窓口となっています。壁のスクラッチペーパー、屋上の末広神社、第二次世界大戦時の米国の機銃掃射による弾痕、屋上のエレベーターシャフト、硬質と鉄質のカラータール八角窓、乗り場インジケーター付きのエレベーター、手動式の鉄製シャッターなど、歴史的な痕跡が残る「八大必看(8つの見どころ)」も必見です。

## 19 海安路芸術街

分類: ローカル旅行  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市中西区海安路  
 開放時間: 終日  
 五条港文化園区にある景観、絵画、写真などのインсталレーションとグラフィティ、チャーの融合した場所です。2004年以降、かつての栄光を取り戻すため、アートストリートとして5段階の整備が行われ、街並み、五条港の文化、前衛芸術、文化的創造性を巧みに融合させた屋外インсталレーションが展示されています。両側にもオープンカフェ・ドリンクショップ、パブ、レストランの店舗が次々と開業し、魅力的な夜の宝石のように連なっています。

## 20 神農街

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市中華東路三段357巷  
 開放時間: 終日  
 1875年に台湾に渡ったスコットランドの宣教師、パークレーに由来する公園です。パークレーは台湾の大学である「台南神学院」を設立し、拼音白話字運動を推進しました。市政府はパークレーの台南への無私の貢献を称えるため、2003年に「17号公園」を「パークレー記念公園」に改名しました。園内には湿地があり、人工的な施設も少なく、ほとんどが豊かな自然の景観と動植物で構成された都会の生態公園となっています。

## 21 延平郡王祠

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市中西区開山路152号  
 営業時間 09:00~17:30  
 一般に鄭成功廟または開山王廟と呼ばれ、台湾開拓の始祖である鄭成功を主祭神としています。当初は「開山王廟」と呼ばれていました。1874年、牡丹社事件のために台湾に駐屯した沈葆楨が民間に溶け込み、民意を把握したうえで、鄭成功が「明の遺臣」であることを正すべく、祠の建設と拡張を奏し、「明延平郡王祠」と改称しました。祠には沈葆楨の自筆を含む数々の対聯など、さまざまな史料が保存されています。

## 22 藍晒図文創園区

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 必要に応じて  
 所在地: 台南市南区西門路一段689巷(新光三越向かい)  
 開放時間: 歩行エリア終日・商店エリア 14:00~21:00(火曜定休)  
 司法新村は近隣の道路と高層ビルの林立など、50年の変遷を経てきました。空き家の建物の隅や赤レンガの壁はつる植物やジュマルの気根に覆われ、歴史の痕跡が刻まれた時代の変遷を物語っています。古い宿舎に新たな命を吹き込み、台南の文化・クリエイティブ産業、古民家の再利用というトレンドを結びつけ、空間の記憶を保存し、都市の空間を活性化しています。民間の意見を集約し、すべての日本語宿舎を保存・修復・活性化させています。「藍晒図文創園区」は既存の古木・赤レンガ・木陰、最も創造性・アートなどの要素が組み合わさった「藍晒図文創園区」は、台南市で最も重要なクリエイティブ集落となっています。

## 【東区】文芸青年の街・東区

東区には台湾の最高学府、有名大学など、教育機関が林立しています。キャンパスの風景も美しく、家族やカップルで楽し過ごすのに最適です。リーズナブルなグルメから高級レストランまでそろっているので、ぜひ散策してみてください。おおすすめの遊び方: 文芸青年風のリュックサック・スニーカー、蚊よけスプレーがあればOKです。サイクリングにもハイキングにも最適です。

## 23 旧台南県知事官邸

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市東区街民街1号  
 開放時間 11:00~20:00(月曜休館)  
 市定古跡に指定されています。日本統治時代の1900年に台南県知事公邸として建てられました。日本の皇族が台湾を訪れる際には「御治所」として使用され、1923年4月20日に皇太子裕仁親王が宿泊したことで知られています。近年になって改修され、一般公開されました。現在は安提阿設計有限公司に委託され、「知事官邸生活館」として運営されています。

## 24 台南文創園区

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市東区北門路二段16号  
 開放時間: 終日  
 かつては総督府専売局台南出張所として、タバコの専売事務を行っていました。現在は台南の豊かな歴史・文化遺産、文化的創造性、産業を結びつけ、周辺の10万人が創造生活拠点と連携し、「クリエイティブイノベーション産業」の発展に特化した人材育成プラットフォームとなっています。

## 25 台南駅

分類: 史跡・文化遺産  
 料金: 無料  
 所在地: 台南市東区北門路二段4号  
 開放時間: 終日  
 台南駅は清代の旧市街に建てられた数少ない駅の一つで、日本統治時代から南駅と呼ばれていました。最初の駅舎は1900年に建てられました。1910年代に2代目に改築され、現在の3代目には、日本建築家の宇野浩二による折衷主義の設計で、1936年3月1

